

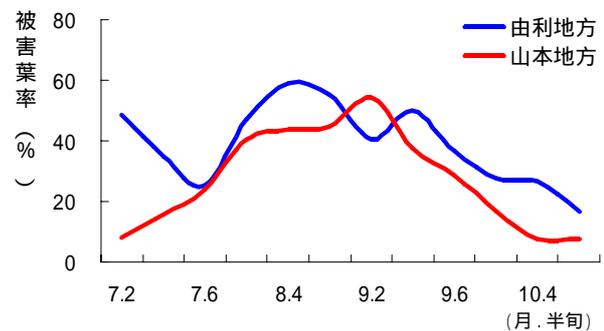
## ネギハモグリバエ Stone leek leaf miner (*Liriomyza chinensis*)

### 【見分け方】

ネギの葉裏に幼虫が潜入して葉内を食害するため被害部は白いすじ状になる。幼虫は黄白色の小さなウジのような虫で体長 4mmほどである。春に多発するとネギの苗は枯死することもある。生育の進んだネギは枯れることがないが、生育が遅延して品質が低下する。

### 【発生生態】

秋田県では成虫が5月頃から活動を始め、年に3～4世代発生する。成虫はネギの葉に点々と卵を産みこむ。ふ化すると幼虫は葉肉を食害し、老熟すると土中に潜り蛹となる。越冬は土壌中の蛹で行う。



ネギハモグリバエの発生推移